

### 黒埼体操クラブ海外遠征合宿記

## ほめて育てる米コーチ

平成9年12月25日から平成10年1月6日まで、黒埼体操クラブは初の海外遠征合宿を行いました。同クラブの理事や選手が2回にわたって合宿について報告します。

### 黒埼体操クラブ理事 谷川 一寛

この度、黒埼体操クラブでは初の海外遠征合宿を実施しました。期間は平成9年12月25日から平成10年1月6日までの11泊13日と、かなりの長期間の日程でした。その実行までには至る過程は、次のようなことから話が進み実現に至りました。

平成8年度新潟県外人スポーツ指導者として、富田洋一氏が平成9年2月から7月まで黒埼体操クラブを拠点クラブとして新潟県内の体操競技の技術指導、講演等を実施し帰国しました。富田氏はソウルオリンピックの全米コーチでもありました。そこで、黒埼体操クラブでは海外遠征合宿を、彼が主催しているアメリカ・アリゾナ州ツーソンの体操競技体育館での合宿を、平成9年8月から計画し実行に移しました。ツーソンの体育館からは体操競技のアトランタオリンピック全米代表選手が誕生しています。

日本からは、黒埼体操クラブが5名の参加、また、富田氏の出身地である群馬県の高橋の男女優勝チームである高崎工業高校と群馬女子短大附属高校との合同遠征となり、約30名の大所帯の移動になりました。

現地では、アメリカの指導者、選手との国際交流が図られ大変有意義な海外遠征となりました。また、群馬の先生や生徒とも友情が生まれ実のあるものとなりました。

黒埼体操クラブ参加者名簿  
代表 桜井 幹也 (鳥原本村1)  
コーチ 谷川 一寛 (寺地団地)  
加藤 慎人 (木場川前)  
渡辺 雄祐 (新潟市)  
神田 比呂子 (鳥原新地)

12月25日 木曜日  
午後2時55分、大韓航空1便にて成田を発ち、機上での長いフライト(14時間)で食事を2回取る。大人はアルコールを入れて睡眠をとり、ロサンゼルス空港に午前8時到着しました。ロサンゼルスでは、現地在住の日系人の方が出迎

えてくれていて、国内線への移動もエスティマとベンツを使いピストン輸送をし、チェックイン手続き等スムーズにこなしてもらいました。午前10時45分、ロサンゼルスを出発、ツーソンに午後1時到着しました。ここでも、もう時差が1時間ありました。国内線は、200人乗りの小型ジェット機で、乗客は、私たちのほかは日本人はいませんが、少し乱気流で揺れましたが、たいしたことはなかったです。ツーソンの飛行場では、それぞれ富田一家との再会を喜びました。午後3時、ホテルに到着、荷物を下ろし、さっそく車で移動し練習です。ホテルからジムまで30分ほどかかります。この日は下道を通りましたが、フリーウェイを通っていくこともありました。下道ではダウンタウン通り、大きいサポテンにお目にかかり、アリ



左上から、桜井さん、谷川さん、加藤さん  
左下から、渡辺さん、神田さん

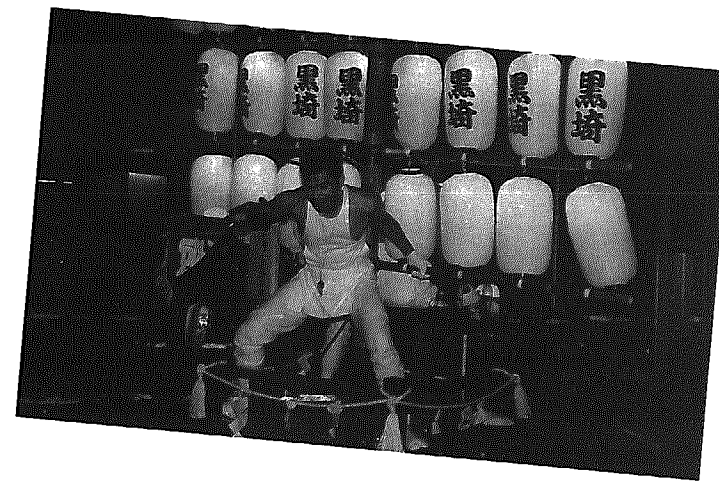
ゾナ大学のすぐ横を通って、6万人収容のアメフト場、1万6千人の当たりにし、アメリカのスケールの大きさを感ぜました。みんなだるいながらも、軽練習を1時間半ほどこなして夕食に移りました。時差ボケを解消するにはこれが一番いいという事で、富田氏の計画でこういう日程となりました。確かに次の日から時差が解消できたように思います。夕食は、アメリカンスタイルのバイキング形式レストランでした。サラダから果物、パスタ、肉料理、デザートとそれぞれ何種類もあり、何をどれくらい食べてもかまいません。料金も10ドルかかりません。日本人は私たちが皿に一杯という感じですが、現地の人たちの2杯、3杯という食事の量はたまげるほどです。なお、食事のプランは、全て富田氏の奥様の計画によりパラエティに富んだものが次から次へと計画されました。

12月26日 金曜日  
午前6時30分、中庭にて朝練習開始。7時、朝食、レストランにて各自卵料理を注文しました。毎日のことで、これが全て英語なので生徒たちは最初は手間取っていました。初日は、富田氏の子供たち勇樹(18歳)、直美(16歳)、桜(13歳)がともに宿泊してくれましたので、英語を翻訳してもらいながら各自頼んでいたようです。富田家はみんな日本語も英語もうまく大助かりでした。勇樹と桜は現役の体操選手で、勇樹は全米ジュ



スポーツ  
大会

◆県中学新人柔道体重別大会  
(1月11日、新潟市鳥屋野総合体育館)  
男子78kg級 優勝・椎谷明仁(天尾真太郎)  
男子78kg級 優勝・川崎悠太  
◆第24回柳作・善久親善囲碁将棋大会  
(1月15日)  
囲碁の部 優勝・永田幸寛(阿部利真) 影山心良  
将棋の部 優勝・斉藤栄一郎(尾島定巳) 鹿島耕平



商工会青年部ではくろさき祭りに向けて、制作班、コース班、イベント班、広報班という名称のグループを編成して活動しています。今回はその中の広報班として、お話をさせていただきます。

広報班の役割は「やかた竿燈を知ってもらうこと、参加してもらうこと」で、その方法として昨年は、①告知ポスターの作成、配布②テレビ、ラジオでのPR③広告チラシの作成、配布などをやりました。中でも広告チラシについては、初めての試みで不安がありました。私どもの考えをご理解くださった方々からお力添えいただき、幸先のいいスタートとなりました。心から感謝しています。また、告知ポスターの貼付けの際も町内外の皆様が快くご協力くださったおかげでトラブルもなく円滑に活動できました。このような経験から、毎年この行事を高く評価してくれる人が増えている事実を知り喜んでいます。また、祭り行事が定着している他地域の実績と比べるとくろさき祭りをより規模の大きい祭りにするためにはもっともっと大勢の人達の力が必要だということを痛感しています。子供からお年寄りまで、今まであまり興味の無かった人が少しずつ参加してくれるようになり、祭りが盆や正月のように一年の中の節目の一つと感じるくらいにしていこうと思っています。そのために何かアドバイスがありましたら、気軽にお近くの商工会青年部員にお申し付けください。みんなで祭りを作っていきましょう。

祭りは夏ですが、既に次の祭りに向けての活動は始まっています。商工会青年部として今年も皆さんにいろいろとお願ひに上がることがあるかと思いますが、その際にご協力のほどよろしくお願ひいたします。



鳥原大明  
前田 重徳

# やかた竿燈に向けて

Part 15

## 広報班の役割とは

ニアで準備優勝して、シドニーオリンピックの候補選手、鉄棒は屈伸コバチというウルトラEの技を練習中でした。午前9時から午後1時まで練習、この日から本格的な練習に入りました。ジムは冷暖房完備で、ピット(スポンジの入ったプールのようなもの。体操の練習には欠かせない)付きで高度の技の練習に最適であり、2カ所もありました。各種目の器具もたくさんあり、平均台は10台並べておいてあるほどでした。トランポリンも埋め込み式で安全面でも十分配慮がなされていました。気温は朝は2、3度で日中は20度を超える日が続きました。雲は全くなく、紺碧の空というところでしょうか。年間320日は晴れているとのこと。(続)

参加を希望される方は、商工会青年部 (☎377-3155) へ